

## NPO 法人ケアマネット 21「第 7 回 主任ケアマネジャーフォローアップ研修会」 ～アンケート集計結果～

平成 28 年 3 月 12 日（土）開催

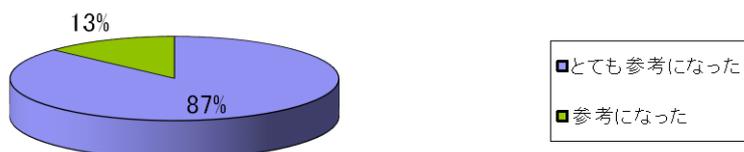
この度は、研修アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。  
52 名の参加の内、38 名の方にご回答をいただきました。  
皆様からの意見を参考に、今後の研修会の企画に役立てて行こうと思います。

### 1.参加者の属性

- ①性別： 男性 6 名  
女性 31 名  
無記名 1 名
- ②年代：30 歳代 1 名  
40 歳代 9 名  
50 歳代 18 名  
60 歳代 9 名  
無記名 1 名
- ③ケアマネジャーの実務経験年数：  
5～8 年 6 名  
9～12 年 17 名  
13 年以上 15 名
- ④所属について：居宅介護支援事業所 31 名  
地域包括 5 名  
その他 2 名
- ⑤前職について：介護福祉士 16 名 社会福祉士 6 名  
(複数回答) 看護師 16 名 その他 4 名 (社会福祉主事等)

### 【研修会についてお尋ねします】

#### 1) 午前中の事例検討会。



(ご意見)

- ・事例の捉え方、論点の考え方が勉強になりました。
- ・自身の偏った考え方に気付くことができました。
- ・物事の捉え方や視点について柔軟に考えていけるようにしないといけないと感じました。
- ・ケアマネの立ち位置が大切であると共に、関係性と向き合う力が大切と、参考になりました。
- ・思い込み、レッテルをはる事の怖さと、いつも整理していくことが大切ではないかと思った。
- ・自分の利用者への対応をまっしろな気持ちで向き合いたい。
- ・固定観念を捨て、事例を検討することも必要だと学びました。
- ・ケアマネの固定観念で事例をみることの危うさを学べた。
- ・ヘルパーが嫌がって、次々に辞めていく事例は自分も担当しているので、参考になった。
- ・お金持ちの方は、世間体をすごく気にする事が(価値観の違い)わかる。
- ・自分の担当ご利用者様の事を思い、自分もきちんと向き合い、話を聞いているか?と思い、又バイザーの進行についても参考になりました。
- ・主観と真実の見分けを文章から読み取る難しさがあるという事を知った。客観的にとらえる。
- ・切り口や視点の違いで事例の展開や深め方が変わる事がとても参考になりました。スーパーバイザー難しいと思いました。事業所内での事例検討会、頑張りたいと思いました。
- ・見立ての違いにより事例の展開が異なってしまう事を理解した。自分がバイザーだとしたら不安でいっぱいだと思う。
- ・タイトルばかりに目線がいていたが、展開の中で問題は違うところにあることに気づきました。
- ・毎回事例検討会の後、白木先生の解りほぐし切り口に目からうろこ。
- ・事例を深める中で、何で事例提供者が事例を出して、何の問題を取り組みたいのかに持って行けるのかに気づかせてもらいました。
- ・固定観念、先入観を持たずに全体を見ていくことが大切と再確認しました。
- ・沢山の気づきができて良かった。グループワーク形式だったので、色々と話ができてとても勉強になりました。
- ・引き継ぎ事例では固定観念が先にあり、アセスメントが十分できていないと自分でも反省しています。
- ・スーパーバイザーの難しさとCMとしての利用者との向き合う覚悟の大切さを学びました。
- ・事例の核心がどこにあるのか、着眼点について学びました。

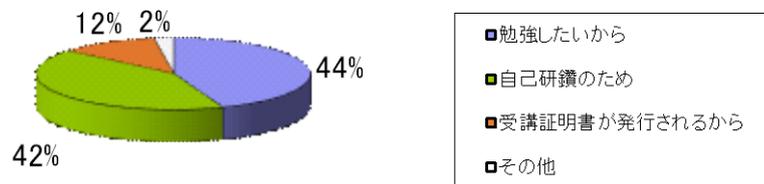
## 2) 午後からの事例検討会。



(ご意見)

- ・一つの家に課題を持つ人が複数名いることがケースとしては増えてきているので、焦点化について学びました。
- ・午前の事例と重なるところはありますが、クライアントの目線で見ると大切さが勉強になりました。
- ・状況を掴んで見極めていける力や、スキルを身に付けていけないと痛感しました。
- ・家族内の夫婦共の情報収集することが必要であることが参考になりました。
- ・見えない気持ちを探り探して、対応できるようになりたい。
- ・事例の肝を考えることの重要性を学びました。
- ・視点のおき方について考えた。いろいろな事を知っておく事の重要性をいつも気づかされた。
- ・AM, PMともCMの目線がタイトルに出ていたので、CMとしての事例への向き合い方を考えさせられた。事例検討会時には気をつけて見ていきたいと思った。
- ・夫婦2人共同じCMだと見えてこない部分もあることが理解できました。自分の価値観で判断しないという事も勉強になった。
- ・対象者だけでなくその人を囲む人とのつながりに目線を。
- ・妻のイメージが変わって見る事ができた。固定観念を取り除く事が大切。
- ・支援者が夫だと思っていたが、質問の中から妻も介護 1、うつ等がわかり、そこから視点も変わったように思いました。これからどのように支援したらいいかもというところがわかりました。
- ・事例を展開し、論点がどこにあるのかを気づけるところへ持って行けるので、自分にも良い勉強になりました。
- ・本人に焦点をあてるだけでなく、本人を囲む周りの状況も把握する必要がある。それぞれの考え方や価値観に着目する事が大切と感じました。
- ・どこに事例の焦点があるのか見極める力をもっともっとスキルアップしていきたいと思っています。
- ・自分の価値観でどうしても見えてしまう傾向にないようになっている事に気づかされました。
- ・夫婦を個別化にて見る事の大切さを改めて理解しました。→夫婦を別のケアマネで担当するという視点も持っていなかった。

3) あなたがこの研修会に参加した動機を教えてください。  
(複数回答)



(ご意見)

- ・もっともっと、スーパービジョンを受ける必要あり
- ・この研修はとても怖いと思う自分がいるのですが、終わった時には「あ～良かった、頑張るぞ！」と思えます。今後も数多くの事例検討会(研修)を企画してください。
- ・スーパーバイザー事例検討について、具体的に見方が勉強になりました。
- ・研修を生かした実践ができるようになりたいと思いました。
- ・また、参加したいです。
- ・事例は自分の振り返りになりますね、勉強になりました。
- ・主任ケアマネ対象の研修は、協会がしている研修は遠方なので、小倉であるのは助かります。
- ・自分の価値観で見ない。その人の年齢や時代背景等を見る力、そこから見えてくる事で支援の方向性が見つかると感じました。ありがとうございました。
- ・ケアマネットの研修に参加させていただくと勉強になることが多く、これからも参加したいと思います。
- ・白木さんのスーパーバイザーを受けたかったため。
- ・自分の価値観がすべてではない。課題以外のところに原因があるのかもしれない視点に気づかなければならない。
- ・主任ケアマネがキャリアアップのためであるので、特定事業所加算の条件にいれるのはおかしくないだろうかと思います。
- ・事業所内のスーパービジョンに活かしたい。

4) 次年度の事業計画において、主任ケアマネジャー対象に開催して欲しい研修内容があれば教えてください。

- ・ファシリテーショングラフィックについて
- ・事例検討、スーパービジョンを繰り返してほしいです。
- ・事例の肝(焦点)の捉え方のポイントについて、教えていただきたいと思います。
- ・事例検討会に繰り返し参加したい。(司会進行、板書、事例提供の役割を学ぶ)
- ・高次脳機能障害。パーキンソンについて
- ・事例検討(スーパービジョン)
- ・医療との連携について知識を深めたい。
- ・スーパービジョンの流れ等の勉強会
- ・事例検討会
- ・スーパービジョンについてより深く学びたい。

ご協力ありがとうございました。